

UBS Investor Watch

世界の見解: 投資家は何を考えているか

2021年6月 UBS富裕層意識調査レポート

新たな 価値観

最近の投資家の目的:
経験、つながり、他者への支援に
資金を投じる



スペイン風邪と第1次世界大戦が「狂騒の20年代」を生み出してから100年、専門家の多くは新型コロナウイルス危機収束後にも同じような状況が発生すると予想している。結果的にそうなる可能性はあるが、最新のInvestor Watch調査では、投資家は現時点ではより深層を見据えていることが明らかになった。すなわち物事の意味を探求し、目的意識を持ち、自らを取り巻く世界により、貢献したいと考えているということだ。

1年前の2020年5月、パンデミックの第一波が収まりつつある中、UBS Investor Watchの富裕層投資家調査が行われた。そのレポート「新しい道」では、投資家が恐怖を感じ、将来に確信を持たず、人生で最も重要なものを見つめなおしつつあることが浮き彫りになった。

ワクチン接種が進み、商業活動が回復し、行動制限の緩和が進む今になっても、人々はそれぞれの目標の優先順位の見直しを続けている。いわば、人生は短いと痛切に感じるようになったのだ。

だが、このコロナ回復後の世界を特徴づけるものは、見境のない支出や派手な祝宴ではなく、もっと慎重で、意味のあるものになりそうだ。

確かに、特にアジアの投資家を筆頭に、多くの投資家は、失われた時を取り戻そうとしている。10人中およそ6人の投資家は、ロックダウン（都市封鎖）期間中にできなかったことを思う存分楽しみたいと考えている。計画されている支出目的のランキングでは、旅行とエンターテインメントがトップである。

だが、一方で別の変化も生まれつつある。

10人中7人の投資家が、世界により良い変化を与えたいと思っている。10人中6人が、パンデミックによって、崇高な物事を重視するようになったと回答した。40%が何か大きなものに関わりたいと思うと述べた。

さらに深掘りすると、女性と若年層の投資家がパンデミックの影響を最も受けていることが分かった。例えば、女性は男性よりも、人生の優先順位の見直しを行った割合が高かった。そして若い投資家で世界にポジティブなインパクトを与えることに価値を置く人の割合は、上の世代を大きく上回った（若い世代が79%であるのに対して、50歳以上の投資家は51%）。

こうした新しい価値観を得た投資家は、自らの資金を用いて社会に変化をもたらすことにより高い関心を持つようになっている。ほぼ半数の投資家が、慈善事業への寄付をパンデミック前の水準よりも増やす計画で、その傾向はラテンアメリカで最も顕著だ。またおよそ60%の投資家が、パンデミック前よりも、サステナブル投資に大きな関心を持つようになった。

世界的に回復が進む中、ホテルやスタジアムの利用客の増加だけでなく、人々の心や感情の満たされ具合にも注目しよう。

1

投資家の人生についての考え方を変えたパンデミック

パンデミックは投資家を根本から変えた。パンデミックの経験が大半の投資家を人生の優先順位の見直しに駆り立てただけでなく、人生と仕事の意味を探るきっかけを作った。

私生活に関しては、68%がパンデミックによって人生の目的を見つけ、世界により良い変化を与えたいと思うようになったと回答する。仕事面では、10人に4人がもっと意義のある仕事を見つけるか、引退して人生を楽しみたいと考えるようになったという。

目標の変化

賛同した人の割合



79%

新型コロナによって、何が最も大切かあらためて評価し直した

新たな考え方

パンデミックの影響で、次のいずれかの考え方を持つようになったと回答した人の割合

 **68%**

世界により良い変化をもたらしたい

 **68%**

自分の人生の目的を見つけたい

 **58%**

信心深くなった。
精神性を重視するようになった

 **40%**

何か大きなものに
関わりたい

 **40%**

早期に引退してもっと
人生を楽しみたい

 **38%**

もっと意義のある
仕事を見つけたい

「これまで当たり前だと思っていたことを見直さなければならなかった。今は何においても、物事への感謝の気持ちが一段と大きくなっている」

スイス、女性、37歳

「将来について予測することはできない。今ではどのような人生にしたいのかについてよく考えるようになった」

英国、男性、44歳

大半の投資家は失われた時を取り戻したいと考えている

パンデミックによって、昨年から見られ始めた投資家の態度の変化—すなわち健康と家族を守ることを重視する姿勢—が加速している。投資家はより一層時間に価値を置くようになった。82%もの投資家が人生は短いと語り、その割合は2020年5月から大きく上昇した。

投資家10人のうち6人 (57%) が、ロックダウン期間にできなかった活動を積極的に行う計画であり、その割合はアジア、スイスで特に高かった。ラテンアメリカと米国の投資家の姿勢はより慎重だった。

人生は一度だけ

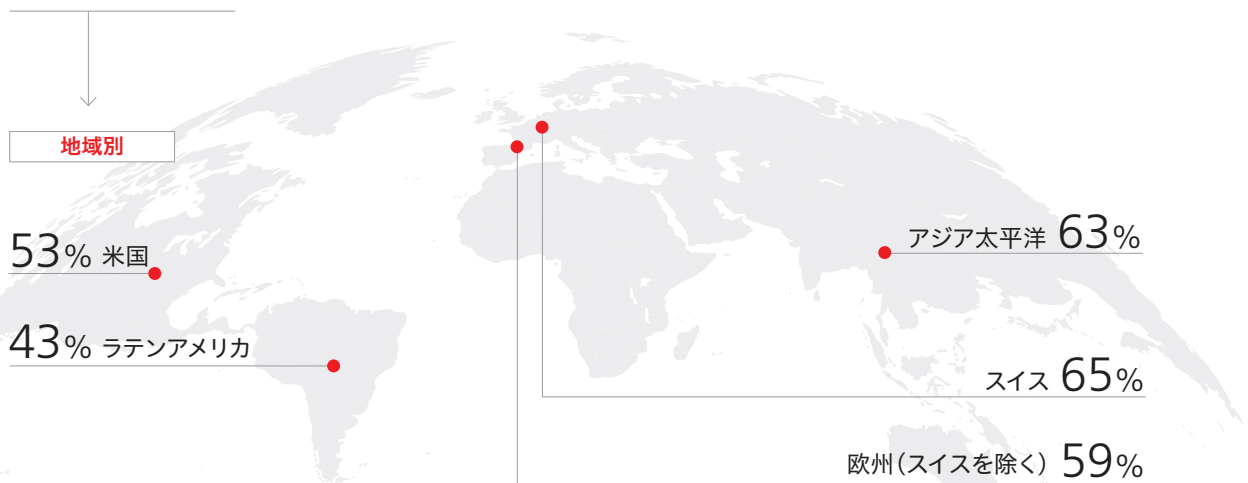
パンデミックによって、人生は短いと認識させられた



大半の投資家は以前の活動を再開する準備を整えている

57%

失われた時を取り戻し、最もやりたかったことをする計画だ



「死ぬ前にやっておきたいことがたくさんある。以前よりも残された時間は短くなったのだから、遅れを取り戻したいと考えるのは当然だ」

日本、女性、45歳

「人生は永遠に続かない。時間が極めて重要であることを理解し始めた。使える時間を多くしなければならぬ」

メキシコ、男性、35歳

2

新たな視点を手に入れ、他者への支援に目を向ける投資家

パンデミックを経ても資産に大きな影響は無かったことから、投資家は自らの運の良さを認識した。そして3分の2の投資家はその幸運について罪悪感を抱いている。

このことから、投資家のおよそ半数（45%）が慈善事業への寄付をパンデミック前の水準よりも増やす予定だと回答したのも驚くには当たらない。一方で38%が寄付の水準は変えないと答えた。

入り混じった感情を抱く投資家

新型コロナによって、次のいずれかの感情を抱くようになったと回答した人の割合

87%

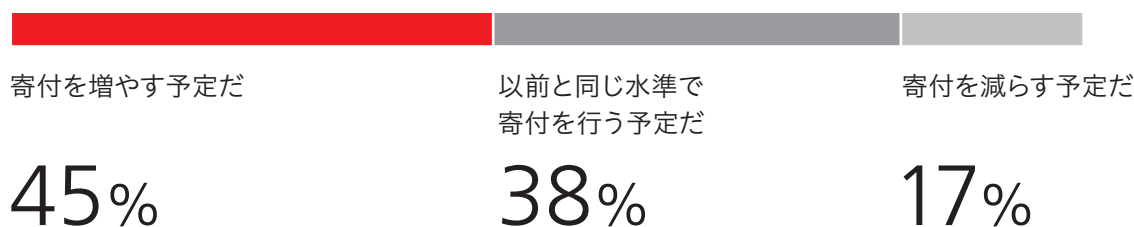
他の人は自分よりも影響を受けたことを知っているの
で、自分は幸運だと思う

66%

他の多くの人々よりも自分が幸運であることに罪悪感を持っている

寄付は増える見通し

予想される慈善活動のパンデミック前との比較



↓
地域別

44%
アジア太平洋

44%
欧州（スイスを除く）

50%
ラテンアメリカ

46%
スイス

46%
米国

「自分は多くの人よりも幸運だと思う。そのため、罪悪感を持っている」

米国、女性、55歳

「新型コロナは、多くの人々が援助と支援を必要としていることを明らかにした。喜んで寄付したいと思う」

シンガポール、男性、39歳

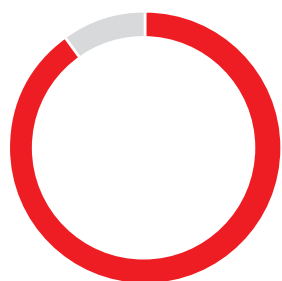
…そして、自らの資本を用いて、変化を促す

投資家は、自らの資本が世界を変える手段であると認識している。90%もの投資家が、パンデミックによって投資と価値観の方向性を一致させたいと考えるようになったと述べた。

投資家10人のうち6人 (59%) が、パンデミック前よりもサステナブル投資への関心が高まったと回答し、その割合はアジアで特に高かった。

価値観に基づく投資への強い関心

賛同した人の割合



90%

投資と価値観の方向性を一致させたい

サステナブル投資に注目が集まる



59%

新型コロナ危機を受けて、サステナブル投資により強い関心を持つようになった

地域別

70%

アジア太平洋

55%

欧州(スイスを除く)

63%

ラテンアメリカ

44%

スイス

51%

米国

「サステナブル投資はもはやトレンドではなくなり、必須なものになりつつある」

メキシコ、女性、60歳

「この世界を今よりも良い場所にして次世代に残したい。それこそが正しい行いだ。サステナブル投資を検討しようと思うのはそういう理由からだ」

アラブ首長国連邦、男性、43歳

3

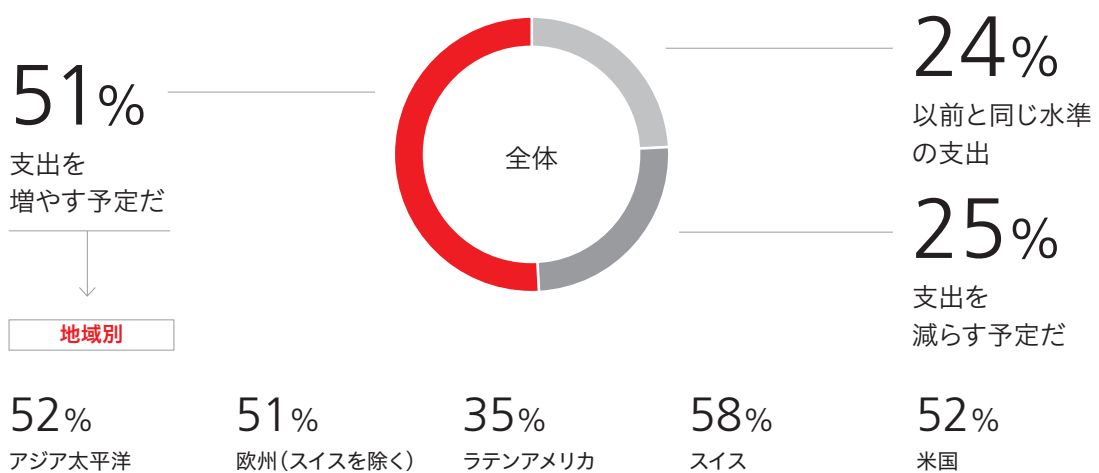
大半の投資家は、生活が正常化するにつれて コロナ前よりも支出を増やす

外食から通勤まであらゆることが長期に渡って厳しく制限されたことにより、裁量支出が減少した。投資家10人のうち7人(72%)が、その結果貯蓄が増えたと回答している。

そして、投資家の半数がパンデミック前よりも支出を増やす計画と回答している。4分の1はパンデミック前の水準に戻すつもりでいる。以前よりも支出を減らすと回答したのはわずか25%だった。

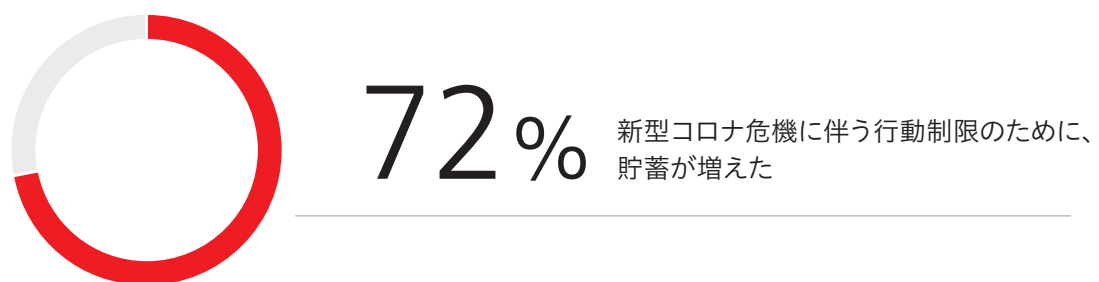
大多数の投資家がパンデミック前の支出を維持するか、それよりも増やす方針

予想される裁量支出のパンデミック前との比較



増えた貯蓄の恩恵を受ける投資家

賛同した人の割合



「旅行やガソリン、洋服等への支出が減ったため、毎月黒字になっている」

米国、男性、69歳

「可能になれば直ちに、支出を増やすつもりだ」

ブラジル、女性、60歳

…そして人生の経験に時間とお金を費やす

投資家の4分の3 (77%)が、パンデミックによって、物を所有するよりも人生の経験の方が大事だと確信を持つようになったと語る。

制限の緩和が進むにつれて、投資家は旅行、外食、エンターテインメントにより多くの時間と金を費やすだろう。

投資家は物の所有よりも経験を重視

賛同した人の割合



77%

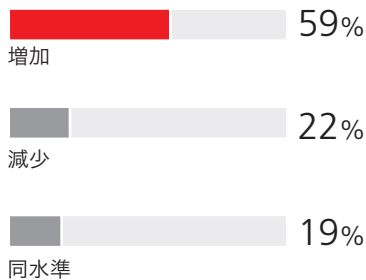
物質的なものよりも人生の経験の方が重要だと考える

投資家は社会活動への支出を増やす可能性が高い

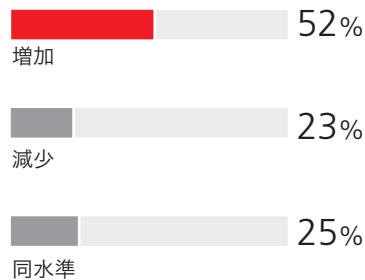
支出の増減を予定する投資家の割合



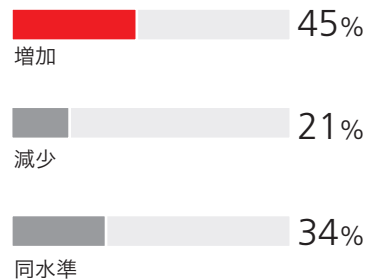
旅行 / 休暇



外食



スポーツ / エンターテインメント



「パンデミックによって、自分が本当は何に重きをおきたいかじっくり考えることができた」

メキシコ、女性、58歳

「以前は『普通』だったこと、つまり家族や友人との旅行と外食をもっとするつもりだ」

イタリア、男性、52歳

世代別意識の考察

パンデミックによって世代間の意識のギャップが浮き彫りに

パンデミックは、年齢の高い投資家よりも若い投資家の考えをはるかに大きく変えた。例えば、若い投資家の約80%が世界をより良くしたいと考えているのに対し、50歳を超えた投資家でそのように考えている人はわずか半数だった。

また、パンデミック前よりも慈善活動への寄付を今後増やすつもりと答えた投資家の割合は、若い投資家が52%に対して、高齢の投資家は35%だった。

若い投資家は、高齢の投資家よりもずっと内省的

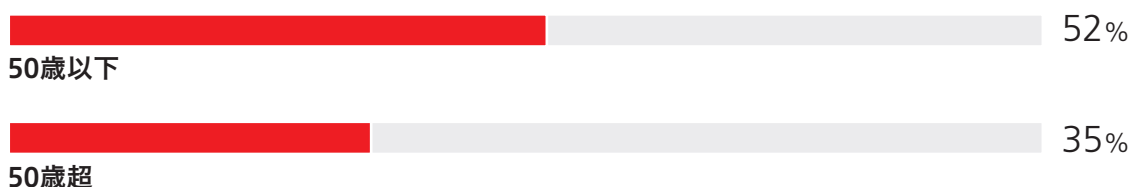
パンデミックによって次のような影響を受けたと考える人の割合

	50歳以下	50歳超
世界により良い変化をもたらしたいと考えるようになった	79%	51%
罪悪感を抱くようになった	78%	47%
信心深くなった。精神性を重視するようになった	69%	38%

…そして、若い投資家は慈善事業への寄付を増やす

予想される慈善事業への寄付のパンデミック前との比較

寄付を増やす予定だ



若い投資家はアドバイスを渴望する

次の各項目について新型コロナ危機によって関心が高まったと回答した人の割合

	50歳以下	50歳超
投資機会	78%	53%
サステナブル投資の選択肢	76%	37%
総合的な資金計画の策定 / 更新	74%	40%

ジェンダー別意識の考察



パンデミックによる顕著な意識の変化は女性にあり

パンデミックによって自分を見つめ直したと回答した人の割合は、男性よりも女性の方が高かった。自らの目標を考え直したと回答した割合は、女性が84%であるのに対して、男性は76%だった。

資金面では、女性の方が寄付を行う可能性が高い。慈善事業への寄付活動をより積極的に行う予定と答えた人は、女性が半数(51%)を超えたのに対して、男性は42%だった。

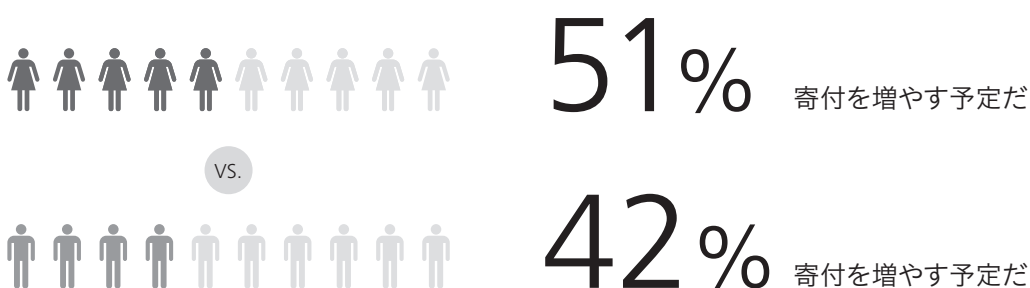
女性の方が男性よりも、パンデミックによって内省的に

パンデミックによって次のような影響を受けたと考える人の割合

		
自分にとって何が最も大切か改めて評価を行った	84%	76%
世界により良い変化をもたらしたいと考えるようになった	75%	65%
早期に引退して人生を楽しみたいと考えるようになった	45%	37%



…そして慈善事業への寄付活動を拡大する

予想される寄付活動のパンデミック前との比較



女性は計画の策定とサステナブル投資へのアドバイスをより重視

新型コロナ危機によって関心が高まったと回答した人の割合

		
投資機会	72%	67%
総合的な資金計画の策定 / 更新	69%	57%
サステナブル投資の選択肢	69%	56%

調査について：UBSグローバル・ウェルス・マネジメントは、世界中の富裕層のお客様に金融に関する助言とソリューションを提供している。世界でも卓越した調査力を用いて、定期的にグローバル投資家に調査を実施し、ニーズ、目標、懸念を正確に把握しようとしている。2012年以来、UBS Investor Watchは、富裕層投資家のセンチメントを追跡、分析、報告してきた。

UBS Investor Watchの調査では、次のような幅広いテーマを対象に調査を実施している。

- 金融市場全体のセンチメント
- 経済の見通しと懸念すべき課題
- 個人的な目標と懸念
- 高齢化と引退といった主要テーマ

本号のUBS Investor Watchでは、少なくとも100万ドルの資産を保有している3,800人以上の富裕層投資家を調査した。調査対象地域はスイス、英国、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、アラブ首長国連邦、米国、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、中国本土、香港、シンガポール、日本の15市場にわたり、調査は2021年5月に実施された。また、2020年5月に実施された3,750人以上の富裕層投資家を対象とした調査と比較している。

本資料に関するご留意事項

本資料はUBS AGが英文で作成したものをUBS証券株式会社(以下、当社)およびUBS銀行東京支店が情報提供を目的として協働して翻訳したもので、特定の金融商品の売買または売買に関する勧誘を意図したのではなく、金融商品取引法に基づいた開示資料ではありません。また、お客様に特有の投資目的、財務状況等を考慮したものではありません。本資料は信頼できると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。記載内容は過去の実績であり将来の成果を示唆・保証するものではありません。本資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。金融商品等のお申込みにあたっては契約締結前交付書面等を十分お読みになり、ご自身でご判断いただきますようお願い申し上げます。

その他の留意事項

当社およびUBS銀行東京支店は、本資料の使用または配布により生じた第三者からの賠償請求または訴訟に関して一切責任を負いません、また税務、法務等の助言は行いません。

©UBS 2021 無断転載を禁ず。UBSはすべての知的財産権を留保します。UBSによる事前の許可なく、本資料を転載・複製することはできません。

商号等：UBS証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2633号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

商号等：ユービーエス・エイ・ジー(銀行)東京支店 登録金融機関 関東財務局長(登金)第605号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

ubs.com
2021-406345